

市民講演会を開催します！

脳を守る 内科と外科のアプローチ ～ 脳 卒 中 と 認 知 症 ～

12月13日（土）に、健康寿命延伸に向けた市民講演会を開催します。

脳卒中の専門病院である横浜市立脳卒中・神経脊椎センターの脳神経内科医師と脳神経外科医師が寝たきりになる病気のひとつである脳卒中と脳卒中に関連する認知症について、分かりやすく解説します。

1 日時 令和7年12月13日（土）10:00～12:00

（開場9:30）

2 会場 南公会堂

（横浜市南区浦舟町2丁目33番地南区総合庁舎内）

3 定員 500名

（事前申込不要、参加費無料、当日直接会場へ）

4 講演内容

第1部 「脳卒中のおはなし～予防と早期治療があなたを救う～」

脳神経内科担当部長 山本 良央（やまもと りょうお）

脳卒中は日本人の介護原因の上位を占める病気です。突然発症したあとは、命に関わるだけではなく、麻痺や言語障害などの後遺症を残すことも少なくありません。今回の講演では脳卒中にならないための予防や、なってしまった時の治療法を解説します。



第2部 「手術で改善できる認知症」

副院長兼脳神経外科部長 大塩 恒太郎（おおしお こうたろう）

認知症と聞くと「治らない病気」と思われがちですが、すべてがそうではありません。水頭症（正常圧水頭症）など、一部の認知症は手術によって改善する可能性があります。今回の講演では認知症の原因となり得る脳卒中疾患に対する外科的アプローチについて詳しく解説します。



5 取材申込

当日取材をご希望の方は、12月12日（金）17時までに下記の問合せ先にご連絡ください。

お問合せ先
医療局病院経営本部 脳卒中・神経脊椎センター 地域連携総合相談室 副室長 稲垣 崇之 Tel045-753-2938



（写真：令和6年度市民講演会の様子）



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

